

## 花まつり～お釈迦さまの誕生日～ 令和2年4月第1週放送

---

四月八日は、お釈迦さまの誕生日です。毎年この日、お寺では二千五百年ほど前にお生まれになった、お釈迦さまの誕生をお祝いする「花まつり」が行われ、仏教にとって大切な記念日です。

この世界に人として、命をもって誕生されたお釈迦さまには、私たちと同じように誕生日があります。

皆様にとって自分自身の誕生日とは、どのような日でしょうか？小さいころの誕生日といえは、自分を中心に、周りの大人から「おめでとう」の言葉とともに、一年ごとの成長に目を丸くされ、お祝いを受けながらも、照れくさいような思いで過ごされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

また、次第に成長し大人になってからは、自分の誕生日をお祝いしてもらうという機会も少なくなってきたかもしれません。その一方で、今度は、自分ではない誰かを主役として、お子様や親族、友人など大切な人の誕生日に、お祝いをする機会が増えていくようにも思います。

相手が同年代であれば、お祝いとともにお互いの無事を確かめるような機会として、また、目上の方であれば、相手の一層の健康を願ってなど、同じ「おめでとう」の言葉に込められる思いも、お祝いをする相手との関係によってさまざまでしょう。

お釈迦さまの誕生日には、多くのお寺において、花いっぱい飾られた花御堂が準備され、生まれて間もないお釈迦さまの姿をおまつりします。そこにいらっしゃるお釈迦さまは、去年と同じお姿です。一方で、お祝いをする私たちは、確実に一年ずつ年を重ねています。

## 『 禅のこころ -曹洞宗- 』

---

小さいころにお釈迦さまに甘茶を注ぐことが楽しみであった私たちが、一年ずつ年を重ねて大人になり、自分の子供や孫を慈しむように、花御堂にいらっしゃるお釈迦さまに想いを馳せます。

一年ごとに年を重ねる私たちと、変わらない姿をしたお釈迦さま……。同じ「おめでとう」の言葉にも、込められる思いは人それぞれです。

今年の花まつり、お釈迦さまに向けて、私たちはどんな思いを込めて、お祝いの言葉を伝えるでしょうか？

— 終 —